

令和7年度 第1回聴覚障害者教養講座

震災支援を通して考える 災害時の情報保障

東日本大震災や能登半島地震など、三浦氏が目の当たりにしてきた被災地の状況を踏まえ、ろう者・難聴者が“災害弱者”と呼ばれない、“誰ひとり取り残さない”社会のあり方について、皆さんと一緒に考える時間です。

みうらひろゆき
講師 **三浦宏之** 氏



《講師プロフィール》

ろう難聴者が直面するコミュニケーションバリアの解消を目指し、1998年に宮城県仙台市に有限会社プラスヴォイスを設立。以来、「代理電話サービス」や「遠隔手話通訳サービス」など、ICTを活用したコミュニケーションサービスの開発に力を注ぐ。これまで、茨城県東海村のJCO臨海事故や東日本大震災、能登半島地震など数々の災害現場へ赴き、ろう難聴者への情報提供支援や通信インフラ普及にも努めてきた。また、プロカメラマンとして就労支援にも力を入れ、デフカメラマンやクリエイターを育成することで、ろう難聴者の活躍の場を創造。現在本社である仙台オフィスのほか、東京と大阪、埼玉にも事務所を構える。東京2025デフリンピックを一つの契機に、手話によるコミュニケーションへの理解と周知を目指す。

武蔵野市教育委員会では、生涯学習の一環として聴覚障害者が多くの市民とともに学ぶ機会を設けています。この講座は、どなたでもお気軽に参加いただける一般教養講座です。

※講座には手話通訳と要約筆記がつきます。

9月20日（土） 午後6時30分～8時30分（受付6時～）

【会場】武蔵野プレイス4階フォーラム

【講師】三浦宏之（株式会社プラスヴォイス 代表取締役）

【参加費】無料 【定員】100名（先着順。当日直接会場へ）

【共催】武蔵野市聴覚障害者協会 武蔵野市教育委員会

【問合せ】武蔵野プレイス生涯学習支援係

TEL：0422-30-1901 FAX：0422-30-1960

E-mail：gr-syougaku@musashino.or.jp



公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう
武蔵野文化生涯学習事業団



ひと・まち・情報 創造館
武蔵野プレイス